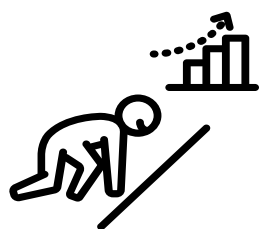




課題解決検討シート 学生の市民参加

	課題	改善点
1. 市民参加の周知	・ そもそも市民参加を知らない	大学の行事（入学・就職オリエンテーションなど）を活用し、電子メールの重要性と共に、市民参加の実施例としてアンケートについて伝える。 学生会や学生生協など活動に熱心な学生に働きかけて、連携を広げる。 地元企業の協賛を通じ、アンケート協力した際にポイントや物品を提供する仕組みを検討。市民参加を通じて、地域経済の活性化と学生の就職を連動させる仕組みをつくる。
	・ 参加の方法がわからない	学生が参加しやすいテーマを整理し、具体的な参加方法や関連イベントを紹介する。
	・ 市民参加の成果、反映された内容が伝わっていない	アンケート結果や取組内容を公開し、SNSや大学からの一斉メールなどを活用して、学生や市民に知らせる。
	・ SNSを効率的に活用できていない	Vチューバーとのタイアップや、インパクトのあるポスター掲示などを通じて、市民参加の内容を発信。 SNSで親しみやすい投稿形式を採用。



課題解決検討シート

学生の市民参加

	課題	改善点
2. その他	・ 学生の市民参加意識が希薄。 楽しいイベントには学生は参加しているのだろうか。 ・ 学生間の交流やネットワークが十分に形成されていない。 ・ 市民参加へと直結する具体的な手段が分かりづらい。	市のイベントを列挙し、学生に参加したことがあるものをアンケートで確認。 学生に対して「市で開催してほしいイベント」を聞く。 イベントを計画する際にはスタッフとして関与したいかを確認。 スタッフとして関与する機関を提供。 学生のためのコミュニティ企画を立案し、学生が市内で集い交流を深められる場を作ることでネットワークの形成を促進する。 イベント企画時に参加者へ連絡が取れるよう連絡先の情報を収集。今後の市民参加へつなげられる仕組みを構築する。直接的でない経路を整備。 経験 → 関心 → 意欲 → 登録  段階的な構成